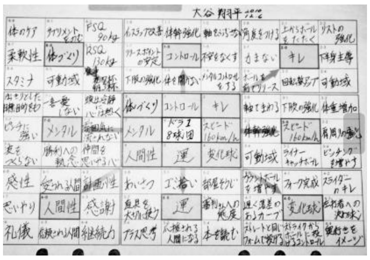
舞鶴市立倉梯小学校

くらはし

学校だより
令和６年１月 24 日
No.12

夢を与え、勇気づけるためのシンボル

１月１８日は、大リーグの大谷翔平選手から寄贈されたグローブと、市内の有志の方から寄贈されたバットとボールの贈呈式を行いました。大谷選手の等身大に近いパネルを準備し、大谷選手の言葉とともにそれらを手渡しました。添えられていた手紙には「私はこのグローブが私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは野球こそが私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。」とありました。



夢は諦めた時に叶わなくなります。彼は夢を持った小学校３年生の頃から毎日を振り返り、書き残すことを続けてきたそうです。その後、「マンダラチャート」と呼ばれるシートに自分の夢を描き、それを実現するために何をするのかを１つ１つ明確に記し、実行していったと聞きました。詳しく知ろうと、この機会に購入した「不可能を可能にする 大谷翔平 120 の思考」を読んでみました。高校生では「マンダラチャート」を 16 枚も書き直したとありました。彼の行いで有名なごみを拾うことも「運を拾うという教え」と今でも実践しておられます。

大谷選手の素晴らしい人間性は以前は道徳の本にも載っておりました。グローブの贈呈を機会に、改めて、自分の夢を持つことの大切さやその夢を実現するために計画的に毎日を歩むことが充実した人生に繋がることを伝えました。「野球やろうぜ！」「憧れるのをやめましょう」　端的な表現で他者に呼びかける彼の言葉にも魅了されます。「120 の思考」は子ども達にも読んでもらいたくて図書室に置いておきました。

校　長　龜井　貴子

２月号「前向きに」

小さな水仙の花の塊が一斉に同じ方を向いて咲いています。なんだか前に歩みだしそうなほどの勢いを感じます。

これは水仙の中でも「日本水仙」という名だそうです。いつからかこの学校を見守ってくれているようで、この時期になると、フェンスの際で見かけます。

一斉に太陽に向かい咲いている様が、ちょうど大谷選手のグローブ贈呈を機会に新しい一歩を踏み出す子ども達が浮かびました。毎日体育館の「大谷コーナー」では先生たちと子ども達のキャッチボールが続いています。「一度顔をだして一緒にキャッチボールをしてみようかな」 とそんな気になる花でした。

小中一貫コーナー「あおばの風」

目指す姿（明るく意欲的に学ぶ子・思いやりのある子・ねばり強く挑戦する子）に関わる子どもたちの様子をお知らせします。

青葉中学校体験入学・入学説明会　（1/19 実施）

ブロック内の４校の６年生が青葉中学校に行き、中学校の授業を受けました。場所と先生が違うだけでずいぶん気持ちも変わります。新しい制服にもわくわく。入学まであとわずか。楽しみですね。

ホームページ情報　　1 月 10 日～

- 始業式　1/10
- アルミ缶の本が届きました　1/10
- ６年生　Push プロジェクト　1/12
- 校区一斉挨拶運動　1/15
- Shohei　Gloves　1/18
- 図画展・書初め展・参観日 1/19

倉梯小HP